



1.御幸ヶ原まではケーブルカーで楽々♪ 2.200余年前、常陸国筑波郡筑波山麓出身の永井兵助がこの「ガマ石」で、7日間坐禅を組み知恵を絞って生み出した宣伝文句が「ガマの油売り口上」。ガマ石の口に小石を投げ込めば、お金持ちになるとか…。



3.クラシカルモダンな江戸屋のロビー。 4.筑波山の杉の根もとから湧きたつ銘水「杉の水」。 5.銘水「杉の水」で入れた珈琲や紅茶が楽しめる江戸屋のカフェラウンジ。 6.景色を眺めつつ、のんびり寛げる江戸屋の足湯。



DATA
筑波山江戸屋
 ☎029-866-0321
 住所●茨城県つくば市筑波728
 URL●http://www.tsukubasan.co.jp
 立ち寄り湯●11:30～15:00
 大人1,000円・小人500円(※ハンドタオル付)
 足湯セット●500円(※足湯+杉の水珈琲)
 昼食付日帰り入浴プラン●2,983円/1人
 休憩部屋予約の場合は3,150円/1人

雄大な景色にふれた後は
 温泉でゆつたりと…

御幸ヶ原からケーブルカーで下山すると、筑波山神社付近から門前通り、つづじヶ丘などにかけて温泉旅館やホテルが並びます。中でも筑波山神社門前にあるのが、寛永年間から続く老舗旅館「筑波山江戸屋」です。敷地内には古来より延寿・招福の霊験あらたかと尊ばれてきた筑波七霊泉のひとつ「杉の水」が湧き出しており、館内のカフェラウンジでは、この水で入れた珈琲を楽しめます。また自然風景を堪能できる露天風呂や内風呂、足湯などを堪能できる、食事込みの日帰り温泉利用もできます(予約無利用と予約制利用が有)。泉質はアルカリ性単純温泉で、双峰の筑波山にちなみ双神の湯と呼ばれています。また足湯だけであれば500円杉の水で入れた珈琲が付きます)で利用でき、気軽に立寄れます。登山後に足湯に浸りながら、新緑を眺めていると、まるで時がとまったかのような心持ちになります。これこそ、癒しに満ちた大人の遠足です。



**自然を満喫したいなら
 歩いて山頂を目指しましょう!**

ケーブルカーを利用しない場合、筑波山神社からの山頂への登山口は、男性山を目指す御幸ヶ原コース、女性山を目指す白雲橋コースがあります。各コースはつながっているので、上りと下りで別コースをとれば山巡りを楽しめます。カタクリ、ニリンソウなど、四季折々に咲く山草の花々も見逃せません。
 (ケーブルカー料金)
 大人片道570円、大人往復1,020円
 子ども片道290円、子ども往復510円



江戸屋の「日帰り入浴付・3種類の味くらべコース」は予約無しで利用可能。釜飯に選べる鍋(牛すき焼き・つくばうどん鍋・シャモのはりほり鍋)の食事をした後、お風呂を楽しめて2,983(つくばさん)円!写真は牛すき焼き。

